

看護闘争ニュース

NO. 122

2007年11月30日

「医師・看護師ふやせ」各地でナースウェーブ

11.10大阪ナースウェーブに300名！

関西各県も一緒に集会・宣伝

秋の大阪ナースウェーブには、「関西は1つ」の思いを込めて、関西ブロックの各県医労連も参加し、300名を超える集会となりました。

集会では、講演「これからの地域医療-医療政策の方針転換へ向けて-」を、の長友氏は、「医療崩壊」の現状と医療政策、現場実態を自ら知ること、知り得たことを知らせていくことが、地域医療の充実・発展へ向けて大切であると…諸外国との比較や統計の数字など使い判りやすく説明。

☆井上中執(日本医労連看護対策委員会事務局長)は、「看護をめぐる情勢と私たちのたたかい」の報告で、166国会参議院の全会派一致で

の請願採択の意味と

、確保法の実効ある見直し・診療報酬改善のため新署名の取り組みを強調！

◆集会に先駆け、JR天王寺駅前で署名宣伝行動

国共病組広島記念病院支部

新執行委員が平和公園で署名デビュー 市民と対話もはずみ、署名も200筆！

国共病組のニュースに刺激され、記念病院支部でも署名行動を、と考え「明日署名行動をしましょう！」と、支部長にメールを打ちました。

私は今年から執行委員になったばかり。何をするのも始めてで、最初は「署名行動を平和公園でも良いのか」もわからないので、医労連の人に聞き場所や時間も決めました。

「大きな声が出せるだろうか？ 恥ずかしくて声がかげられないのは？ 皆に署名してもらえなかったらどうしよう？」と不安はばかりでしたが、予防衣を着たら緊張も何もなく「医師・看護師の増員署名協力してください」と大きな声で、にこやかに署名活動をしていました。何も言わず通り過ぎる人もいましたが、ほとんどの人は足を止め話を聞いてくれました。『看護師さんも大変ですね。』『小児科の先生や産婦人科の先生も増やして欲しいです』など色々な話が出来て、とても楽しく行動が出来ました。県外の観光客の方も協力してくださり、天候にも恵まれ対話も弾み楽しい行動となりました。

我が支部では、二交替問題で出口のないトンネルにいるような、鬱々とした毎日を送ってはいますが県外の方や市内の方に励まされ、やれば出来ると感じ、元気をもらった日でした。1時間で約200筆の署名をいただく事が出来ました。医労連や広島医療生協のかたにも手伝ってもらい感謝しています。



(F O さん記)

愛知県医労連

ドクターウェーブ・ナースウェーブ大成功！ 集まった署名が1000筆以上、テレビ放映も

医師不足解消、看護師をふやせと、秋の「白衣の宣伝、署名行動と、パレードが行われ、19組合・支部から100名が参加しました。この行動は、愛知医労連、自治労連愛知県本部、民医連の3者共同、愛知県社保協協賛で行われました。



この日は肌寒さも感じられましたが「医師、看護師不足が深刻化し、病院運営が立ちゆかない」との訴えに対し、机の前には列をなして署名をする県民の姿が目立ちました。

また、患者負担減らせの世論を反映し、後期高齢者医療保健制度等が一部凍結されましたが、「制度そのものが、おかしい以上、高齢者いじめの保健制度は中止・撤回するしかありません」「社会保障費の削減をくい止めよう」と、訴えました。

列を作って署名に協力してもらえ、500本のバラやお花もあつという間に無くなりました>



兵庫県医労連 ナースウェーブ(学習と増員署名行動)

署名ハガキつきピラを500枚配布しました！

◆ 11月24日の土曜日、午後2時からナースウェーブを行いました。

今回は、三田で7単組22名の参加で、学習と増員署名宣伝のセットで行ないました。学習会は、「職場に役立つ労基法」と題して、本上弁護士が、①2交替勤務への変更問題、②休日出勤手当で割り増し(50%→35%)の就業規則変更問題、③選挙による従業員代表への介入問題など、身近に発生している問題に対応しながら講演してもらいました。

◆ 学習会後は、署名ハガキつきピラ配布と署名宣伝を元気に行ないました。

ピラの反応はまずまず！40分弱で500枚を配りきりました。高校生や若者の反応も良く、その場で署名し、「友達にも渡すから」と10枚のピラを受け取ってくれました。

